



# 山びこ

富良野市立  
扇山小学校  
学校だより  
令和4年4月28日  
第1号

## 「想像できる子の育成」

校長 桑原 啓成

31名の新1年生を迎え、令和4年度がスタートしました。本校には、「学び続ける子」「協力し合う子」「体をきたえる子」という教育目標があります。ただ、このままでは抽象的だったり大きすぎたりするので、年度ごとの重点目標を決めています。今年度の重点目標は「想像できる子の育成」としました。重点目標を設定する際に、校長として心がけたのは、扇山小学校に関わるすべての人が、年度の重点目標を言えるようにするという事です。そのために、頑張りたいことをコンパクトな表現にしました。

では、「想像できる子」とは、どんな子どもなのでしょう。社会科嫌いの子を例に考えてみます。子どもに言わせると「おもしろくない！」の一言に尽きますが、なぜ面白くないのでしょうか？特に、歴史を教えるのは難しいです。社会事象は見方を変えると考え方も変わります。ましてや歴史は、その時代にいたわけではないので、正しく教えることなんかそもそも無理だと思います。しかし、学習指導要領に指導内容が明記されている以上教えなければなりません。いつも悩むのはそれをどう教えるかということです。特に近現代史は、難しいと思います。できるだけ主観的にならず客観的に、その事象を伝えるために、自分なりにとにかく調べました。実際にその場所を見ました。語り部の話を1日中聞いたこともあります。いろいろな人にインタビューしたこともあります。それだけ、入念な準備をして臨んだ授業でも、会心の出来にはなりません。なぜなんだろうとずっと思っていました。ある結論に達しました。子どもたちの想像力の乏しさです。バーチャルな時代になり子どもの想像力は、どんどん減ってきています。想像すらできない子がいます。想像する能力が減れば、感性も乏しくなり、感情も希薄になります。社会事象をリアルに捉えることができなければ、社会科はとてつもらない教科です。想像し実感させるために、体験活動を取り入れたり調査活動をさせたりしますが、そもそもの感覚的なこの部分が足りないとしたら限界があります。この子たちが大人になったら、こうした歴史がどのように伝わるのでしょうか、不安は尽きません。子どもたちに、1年後の自分いや明日の自分を想像させることは可能でしょうか。学校で展開される日々の教育活動は、常に変化し、同じことは絶対に起きません。教師自身が、自分の立ち位置を想像することが重要であり、できなければこの変化の激しい時代を乗り切ることは不可能です。そんな教師に教えられる子どもは不幸だから教師は常に学んでいるのです。想像できるということは、見通しをもてるということでもあります。見通しと振り返りのない実践に、成果はないのです。令和4年度の重点目標を設定するに当たり、扇山小学校が考える「想像力」を次のようにしました。

### **実態として存在しない何かを見る力＝目で見るとはなく、心で感じること**

現代は、インターネット無くして成立しません。ネットで何かについて、匿名でコメントするとします。時に、文字は直接発せられる言葉よりも大きな影響力があります。有名人のツイッターとかブログが炎上する理由がここにあります。こんなことを書いたら、読んだ人がどう感じるだろうという想像力の欠如が招く、典型的な事例です。子どもの社会も同様です。こんなことを言ったら、こんなことをしたら、相手はどう思うだろう。ちょっと想像して考えてみるだけで、人間関係は良好になるのです。心で感じるという意味がここにあります。想像力を育てるためには、「自分の感じ方を自覚させる」「相手の反応を観察できるようにする」「物事の因果関係を理解させる」ことが重要であり、これらを身に付けさせるためには、日常のすべての教育活動が重要であり、意識して指導していかなければならないのです。

今年度は、「元気が出る学校」「笑顔いっぱいの子」を合い言葉に、教職員一同、扇山小のすべての子どものために、全力で取り組むこととお約束いたします。コロナウィルスの収束を見通せない状況に変わりませんが、昨年度同様、保護者・地域の皆様には、変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## 着任しました よろしく願います

新しい教職員が扇山小学校に転入してまいりました。転入職員一同、子どもたちの明るい笑顔に迎えられ、感謝しております。

これからも「笑顔」で、子どもたちと共に、喜びや楽しさを見つけていきたいと考えています。皆様方の学校へのご期待をしっかりと受け止めて、教育活動を充実させてまいります。精一杯がんばりますので、これからどうぞよろしく願います。



教頭 佐藤 道幸  
(剣淵町剣淵小)



教諭 会田 有紀  
(旭川市永山南小)



教諭 佐々木 遼平  
(枝幸町山白小)



教諭 栗山 凌  
(旭川市豊岡小)



支援員 江尻 幸  
(富良野市富良野小)



## 入学式

6日(水)に入学式が行われ、31名のかわいい1年生が扇山小の仲間入りをしました。このピカピカの1年生を加え、令和4年度は232名のスタートとなりました。式では、一人一人が名前を呼ばれ、元気よく返事をすることができました。

1日も早く学校や友だちに慣れて、扇山小の一員として元気いっぱい楽しく学校生活を送ることを願っています。

## 車の乗り入れ禁止について

本校では、正門に車止めを設置し正門からの車両の出入りを禁止としています。その理由として、

①児童の登下校時の危険を緩和すること ②交差点に近い正門からの出入りに伴う国道(38号線・237号線)の渋滞や車両事故等の心配を減少させることなどがあげられます。つきましては、子どもたちと車が交差しないように、今年度も正門からの車の乗り入れは禁止とさせていただきます。

お車でご来校の際は、南門からの出入りを願います。また、児童玄関前の車の乗付も児童の登下校時刻は特に危険ですのでご遠慮ください。どうぞご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



## 5月行事予定

- 2日 特別日課 保護者懇談④
- 3日 憲法記念日
- 4日 みどりの日
- 5日 こどもの日
- 6日 特別日課 保護者懇談⑤
- 9日 全校集会
- 10日 学校運営協議会①
- 11日 諸費引落日 学級経営生徒指導交流会
- 12日 児童総会 尿検査①
- 13日 心臓病検診(1年)クラブ①

- 16日 方面別下校(16日・17日・19日)
- 17日 1年生を迎える会
- 18日 研修日②
- 19日 内科健診(1・2・3年)
- 20日 内科健診(4・5・6年)
- 23日 運動会特別時間割開始  
運動会種目説明会
- 26日 実行委員会①
- 27日 諸費引落日
- 30日 全体練習①
- 31日 全校集会 実行委員会③
- ※P.T.A.運営委員会、子どもネットワーク会議は、日程調整中です。